

これから
社会科学を学ぶみなさんへ

経済・政策・経営etc...

Welcome to the world of the social science



JOSAI UNIVERSITY



日常生活の身近な疑問から **経済学**・**政策学**・**経営学**を比べてみよう



Q **ブームってなぜ起きるの？**



A タピオカブームで言えば…
美味しい！楽しい！カワイイ！
台湾への関心が
ブームを後押し

政策学の視点から見てみよう！

こうなったらもっとイイ！
ブームに潜む課題を深掘り



タピオカミルクティーが入っているプラスチックの容器、ストロー、そしてレジ袋。地球の生態系を脅かすそれらプラごみは、全世界的課題となっています。台湾では代替品として、ドリンクを持ち歩くための布製ドリンクホルダーを開発。新たな土産品として注目を集めています。ステンレス製や竹製のストローとさまざまな可能性が探られる中、ブームに潜む課題を発見し、よりよい社会づくりを追究します。

経営学の視点から見てみよう！

インスタ映えは外せない。
企業目線で流行に迫る

風味や食感など、タピオカミルクティーへのこだわりは各専門店それぞれにあります。美味しさだけでなく、ウケる商品にするためには、インスタ映える容器や店舗の工夫も必要です。そうした商品を核とした企業活動を基軸に、構成要素である「ヒト」「モノ」「カネ」をいかに動かし、ブームが生み出されるかを研究します。市場や消費者のニーズや傾向をつかむ、「情報」も重要な要素です。



経済学の視点から見てみよう！

タピオカが巻き起こした
経済効果を分析してみよう

台湾発祥のスイーツ、タピオカミルクティーを筆頭に、第二次タピオカブームが日本で巻き起こっています。1990年代のブームから約20年、なぜ今人気が再燃しているのか？タピオカはどれほどの経済効果を生んでいるのか？ドリンクからアイス、かき氷へ、専門店からコンビニまで市場が拡大している、タピオカを取り巻く経済の仕組みを、生産→流通→消費の大きな枠組みのもと、分析していきます。



社会科学の学びは、高校の授業では扱われることの少ない学問ですので、それぞれの分野の違いが分かりにくく、イメージが付きにくいといわれています。**経済学・政策学・経営学**の視点の違いを比べ、より理解を深めていきましょう。

東京オリンピック 開催で何が起きる？



A

海外からも人が
集まることで
経済効果が高まる！



政策学の視点から見てみよう！

「誰が何をすべきか」を
考えて政策として進めていく

世界中から多くの人を訪れる2020年は、地震などの災害に対する万全の備えが必要になります。老朽化が進んだインフラ（社会基盤）の改修や補強には建設業が欠かせませんし、日本語のわからない外国人を安全に避難させるためには、行政やボランティアの力も必要になるでしょう。目的に応じていつ誰が何をすべきかを幅広い視野で考え、実行に移すことが、政策に関わる人のミッションです。



経営学の視点から見てみよう！

世界を相手に
チカラを試す絶好のチャンス

東京オリンピック・パラリンピックでは、観戦チケットやオフィシャルグッズの売上など、大会の運営と直接関係する分野で金銭的なメリットが生まれます。また、競技施設の周辺にあるホテルやレストランなども世界中の人々でにぎわい、メリットが生まれるはず。2020年に向けて、さまざまな分野で「どんな商品を、どんな方法で売り込むか」という経営手法を実践するまたとないチャンスになります。



経済学の視点から見てみよう！

さまざまな側面で
経済効果が生まれる

東京オリンピック・パラリンピックに向けた準備が進められており、『経済効果』は数兆円になるという予測もあります。チケットやグッズの販売によって売上や利益が見込まれる「個別の業種における経済効果」もあれば、国の力の指標とされるGDP（国内総生産）にあらわれる「日本全体での経済効果」もあります。経済学ではこの2つの側面から、経済効果の本当の姿を分析していきます。

